

会員各位

NL 編集委員会
委員長 杉山和良

日本バイオセーフティ学会 「ニュースレター」 から 学会誌 「バイオセーフティ」 への移行について

日頃より学会活動へのご支援、ご指導ありがとうございます。

日本バイオセーフティ学会は、**JBSA** ニュースレター (NL) を発行しています。11 月には NL No.33 (11 月号) の発行を予定しております。

学会では、学会の活動のさらなる活性化のためにバイオセーフティシンポジウムを年 2 回開催しています。教育・訓練として **Train the Trainer (TtT)** プログラム (バイオセーフティ管理者を対象とし高度な教育訓練を行えるトレーナーの人材育成を行う) を本年 11 月からの実施いたします。そのほか、今年度 (1~12 月) より海外調査等の費用支援も開始いたしました。

活性化の一貫として、この度、NL を学会誌「バイオセーフティ」に改め、2024 年度から発行いたします。(3 月 1 日に第 1 号を発行予定) これまでの NL では NL 編集委員会からの委嘱による各種バイオセーフティ・バイオセキュリティに係る寄稿の掲載を行ってきました。学会誌「バイオセーフティ」の発行に伴い「原著」を掲載することとなりました。NL へのバイオセーフティ・バイオセキュリティに係る寄稿の委嘱についての規定を整備し、学会誌「バイオセーフティ」投稿規定を作成いたしました。

引き続き NL 編集委員会をバイオセーフティ編集委員会として学会誌「バイオセーフティ」の発行を行っていきます。会員の皆様のバイオセーフティ研究の発表並びに実務に関する発表の場としてご利用をお願いいたします。

弊会にて実施の「実験室バイオセーフティ専門家制度」にて認定された方々には、専門家認定更新の際に学会誌への寄稿も評価の対象となる予定です。

多数の会員の皆様の投稿をお願いいたします。

名称の変更、投稿規定について、最終号となる次号の NL No.33 (11 月号) に掲載いたします。また、学会ウェブサイトに掲載いたします。

学会誌「バイオセーフティ」の英語表記は、**The Japanese Journal of Biosafety** となります。